

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 てらこやキッズ		
○保護者評価実施期間	令和7年 1月 27日		～ 令和7年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 27日		～ 令和7年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育を実施するにあたり、職員を多く配置して安心・安全に配慮した体制をとっております。	児童の特性や発達段階を鑑み、職員の配置数を検討しております。	今後も、安心・安全な環境を整えていけるよう、ソフト面の強化だけではなく、ハード面の強化も図っていきます。
2	試行錯誤しながらではありますが、通ってくれる児童の皆さんが退屈せずに、楽しく学んでもらえるよう活動プログラムを組んでいます。	ご利用される児童が、毎回楽しく通えるよう、明るい雰囲気での支援を心掛けております。また、各職員が児童一人ひとりの特性にあわせた支援を実施しております。	今後も療育の質の向上を目指し、職員研修・自己研鑽のサポートなど、職員一人ひとりがレベルアップを図っていただけるよう努めて参ります。また、求人サイトへの情報更新等も継続し、良い人材の確保も行っていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性の低さ。	他の事業所の取り組みを知らないことや、活動内容のマンネリ化、職員間で情報共有が図れていないことが挙げられる。また、学習した内容を全職員が共有できる環境が整っていない為、5領域を含めた療育に対する専門性等、職員の知識が希薄になってしまっている。	利用児一人ひとりの課題やニーズの把握を行い、計画的に5領域を意識した課題を検討していきます。また、職員のスキルアップを図るために、内部研修の実施や外部研修に積極的に参加して参ります。
2	地域との関わりや連携を図る機会が少ない。	情報の発信不足や地域のイベント等の情報をキャッチ出来なかったことが要因だと考えられる。	情報の発信については、広報委員会を設置し、各事業所ごとにSNSやホームページの内容及びブログの更新を行いながら、質の向上とSEO対策に努めて参ります。
3			